

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [中東の歴史](#) | [中東の歴史 \(7\)](#)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

中東の歴史 (7)

1979年、イラクでは、スンニ派のフセインが大統領に就任する。彼はシーア派とクルド人を弾圧し、強力な独裁体制を敷いた。

イランはアメリカの支援のもと、1963年から白色革命（強制的な西欧化政策）による近代化を進めた。しかしこの改革に不満が高まり、シーア派の宗教指導者ホメイニーに師事する国民らの手による暴動が発生する。国王は国外に逃亡、パリに亡命中だったホメイニーが帰国し、1979年「イラン革命」が起こる。国民が自身の手で体制を変革したイラン革命は、上からの近代化を推進しようとするアラブの王国や、それを支援する欧米諸国にとって脅威となった。この「イラン革命」は、反歐米化の動きであり、イスラム化を求める反動的回帰でもあった。また、イラン革命と同じ年に起こったソ連のアフガニスタン侵攻も、ソ連がイスラム革命のアフガニスタンへの波及を防ぎたいと考えたのも要因とされている。

イラクのフセインは、イラン革命がイラク国内多数派のシーア派にも波及することを恐れ、イランに侵攻した（1980年）。

「イラン・イラク戦争」の勃発だ。米ソ、サウジアラビアやクウェートは、積極的にイラクを支援した。イスラム重視政策をとるシリアとリビアは、イランを支援した。この戦争は足かけ9年にわたって続き、1988年に停戦した。

イラクは莫大な戦時債務を抱え、戦災によって経済の回復が遅れた。行き詰ったイラクはその2年後、クウェートに侵攻した（湾岸戦争）。

「湾岸戦争」は、イラクの敗戦に終わり、停戦条件としてイラクに大量破壊兵器の武装解除が義務付けられた。アメリカ同時多発テロ事件（2001年）が発生すると、アメリカはアルカイダを支援しているとしてイラクに強硬姿勢を示した。そして、イラク武装解除問題の進展義務違反を理由に米軍を主体とする有志連合がイラクを攻撃した（イラク戦争）。しかし、大量破壊兵器は発見されないまま、2010年、オバマ大統領によってイラク戦争の終結が宣言された。

冷戦下のこの時代は、アメリカとソ連の霸権争いと、その勢力圏下の国や組織が、アメリカやソ連の代理としての紛争が頻発していた。

中東地域もその例外ではなく、「民族問題」「宗教問題」「石油利権問題」「パレスチナ問題」「イスラム宗派派閥問題」、さらには「米ソ代理戦争」も加わってくる。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▷ キーワード検索はこちら

▷ サイトマップ ▷ このサイトについて ▷ 個人情報保護の取組みについて

▷ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE

静岡で働く人のための資料閲覧サイト
[ワーカーズ・ライブラリー]

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.